

苗代校下のまいぶんマニュアル

☆☆苗代校下ってこんなところ！☆☆

地形／苗代校下は梯川流域と木場潟にはさまれた平野と、

その平野を見渡す台地・丘陵にあります。

丘陵側の千木野町で、縄文時代に狩りにつかわれた石器や落とし穴が見つかっていて、その頃から人々が生活していたことがわかっています。

ぜひ授業で
紹介してほしい
ポイント！



地形の説明

年表に登場する遺跡／千木野遺跡（千木野町）

おもな時代は**古墳時代**（遺跡の全体では**縄文時代**や**飛鳥時代**のものも少し見つかっています）。

教科書の小単元は「**縄文のむらから古墳のくにへ**」。

ポイント①＝平野を見渡す台地に四角い**古墳**（**方墳**）が8基見つかりました。

ポイント②＝ひつぎなど、遺体が埋葬された施設は残っていませんでしたが、古墳をかこむ溝から**お供え用の土器**が出土しました。



出土したお供え用の土器

年表未登場の重要な遺跡1／吉竹遺跡（吉竹町）

おもな時代は**弥生時代～古墳時代**（遺跡の全体では**鎌倉時代**までのものが見つかっています）。

ポイント①＝台地上に**むら**がつくられ、少し離れた低地（打越町地内）

では漁や稲作を行うためと考えられる**堰**（水路の流れを制御するための構造物）が築られました。

ポイント②＝むらの発掘調査では、**たて穴住居**や、**倉庫**と考えられる掘立柱建物たてばしらたてもののあと、お祭りや儀式でつかわれた土器がたくさん見つかっています。



古墳時代の堰

年表未登場の重要な遺跡2／大領遺跡（大領町）

おもな時代は**奈良・平安時代**と**鎌倉・室町時代**

ポイント①＝奈良・平安時代と鎌倉・室町時代の2つの**道路**が見つかりました。

ポイント②＝道路は直線的で、路面幅は7～8mと大きく、**官道**（国によって整備・管理された道路）の1つである「**古代北陸道**」と考えられます。

ポイント③＝「**大領**」という地名は、古代行政区分「**郡**」の役人である**大領**（**長官**）に由来し、その居館きょかんがあったのではないかとされています。



苗代校下の遺跡